

## 「キャンドル Tech x Art で魅せよう in 宇部」 講義内容

稲葉 裕（照明プランナー、フォーライツ代表）

内田 文雄（建築家、山口大学名誉教授、龍環境計画代表）

小柴 満美子（山口大学工学部ものづくり創成センター、准教授）

本講座は、テクノロジーとアートが融合する新分野を開拓し、地域の発展を担うことができる次世代人材の育成を目指しています。

講義「キャンドル Tech×Art で魅せよう in 宇部」（計4回）は、宇部の魅力をより引き立たせる照明デザインを探索するため、ろうそくの光を利用し、市民の皆様のご協力を得ながらコミュニケーションを図ることで、街を知り実習を進める内容となっています。

街や都市や自然の環境に、光が灯ると、新たな空間が生まれます。照明プランナーや建築家が教える、光・照明デザイン、空間づくりにより、宇部の街に光の魔法を一緒にかけてみてください。

作品発表を、講義内や「テクノロジー×アート」のweb ホームページ、宇部市の冬のイルミネーション・イベント「TOKIWA ファンタジア」で公開する予定です。

### ●4月19日講義#1 「・光について(光源分光など)、・視覚について、・デザイン事例紹介」

⇒ 課題：4月20日～5月9日：各自デザインを熟考する。（5月10日までに電子ファイルでエントリー）

1、『宇部のどこ？』ターゲットにした場所の写真を1か所、または複数可。

写真A4サイズ、モノクロでプリント。＊プリントする際、白黒反転すると夜のイメージに近くなる。

2、色鉛筆、特に白や黄色を使用し光のイメージを描く

アイデアは1案に拘らず50案ぐらい・・・、出し切る。

3、モックアップ(模型)、試作品の作成など

### ●6月14日講義#2 「各自、デザイン案をプレゼンテーション」(当日までに発表 PPT ファイル提出)

熟考したデザイン案を1案に絞り、PPT 等によりプレゼンテーションを行う。

・コンセプト、・アイデアスケッチ(パース)、・モックアップ、試作品など実物？の作成

・シミュレーション画像など

\* 講師陣によりプレゼンテーションで示されたデザイン案から複数(～8名)のグループ分けを提案。

以降、グループ内で、さらにデザインのブラシアップや役割決めなどの話し合いを行う。

\* エントリーしない受講生も、希望者はメンバーに加わり参加したり、意見交換やレポートを行う。

⇒ 課題：6月15日～7月11日：グループ分け決定、グループ毎に実践

各グループで現地(現場)に行き、作品を設置(製作)する。

記録として製作途中・完成写真や動画を撮影。プレゼンテーション資料を用意。

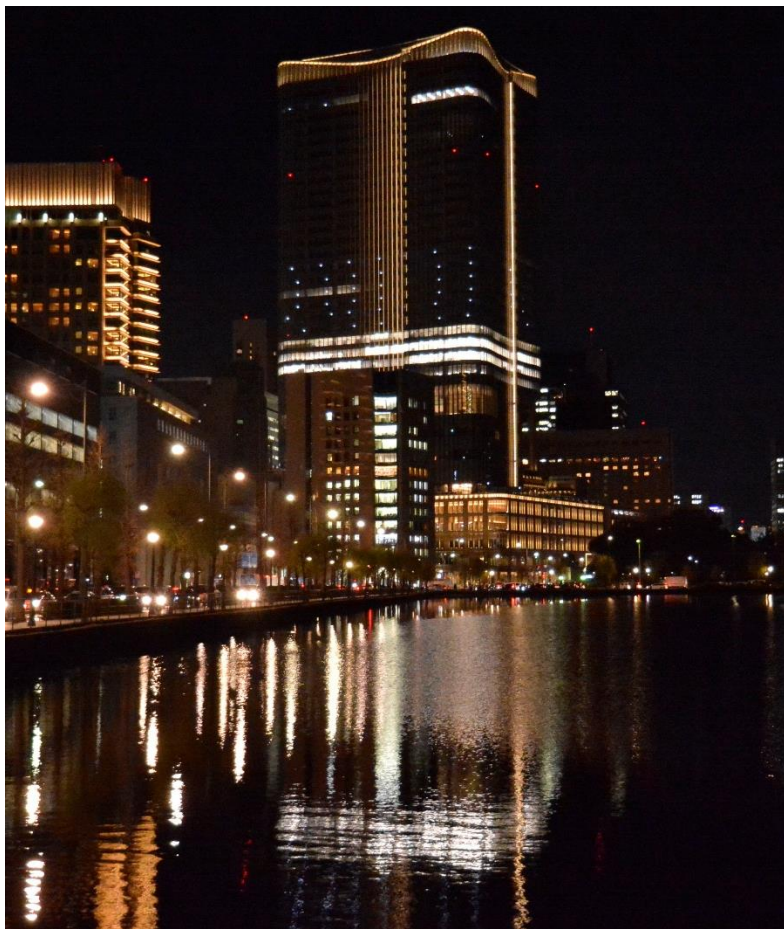
\* 事前に設置場所の許可、交渉を自ら行い、消火体制を提示することで、実施事前許可を得る。

\* 火の元の安全確認・消火片づけ・作業完了報告を各グループ責任者が提出。

●7月12日講義#3 「成果発表」(当日までに発表 PPT ファイル提出)

講評、全員で意見交換会、 Web 公開準備へ

●12月4日講義#4 : TOKIWAファンタジアで実践の画像展示



\* 稲葉裕氏の作品例 (東京ミッドタウン日比谷)



\* 稲葉裕氏が指導した尾道大学・空間造形論の修了課題「隠密、夜の景観創り大作戦 in 尾道」の作品例

